

年頭所感

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

二〇一〇年～二〇一一年にかけていくつかの事業を進めていきたいと考えています。

二〇一〇年の後半から第一体育館を解体してその跡地に七階建ての新五号館の校舎を建設します。一階には法人事務局、聖隸歴史資料館、二階・三階には最新の設備とラーニングコモンズ・ラウンジなどの部屋を備えた図書館、四階は教室と演習室、五階と六階は大学院自習室やケースメソッド教室、ゼミ室教室など、七階は研究室となり大院と図書館の充実が中心となります。

この建設をきっかけにして大学院の再編成を考えていきたいと考えています。現在の大学院が看護、社会福祉、リハビリテーションの修士課程の上に保健科学研究科博士後期課程となつていますが、これを看護学、社会福祉学、



発行者
学校法人聖隸学園
聖隸クリスマス大学・大学院
聖隸クリスマス中・高等学校
〒433-8558
浜松市北区三方原町3453
電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

わたしの目にあなたは価高く、貴く、
わたしはあなたを愛す。

聖句

学校法人聖隸学園 理事長 長谷川 了



聖書のことば

聖隸学園宗教主任 鈴木 崇巨

子供が何人いても、親の目にはすべての子供が同じようにかわいく見えます。そこにはかわいさの大小はありません。同じように、この聖句は神がすべての人をかわいい我が子のようにみていてくださるという聖句です。

神は私たちの人生の中で多くの試練を与えますが、それは私たちを「神の子供としてあつかっているからだ」(ヘブライ一二・七)と教えています。聖書の中に語られている神は愛と憐れみに満ちた神です。たとえば、イエス・キリストが語られた「放蕩息子」のたとえ話の中に出て来る、出来の悪い息子を愛する父のようになります。

スポーツの能力に優れた若者も、病人も、余命の短い老人も、幼い子供も、障がいを持つた子供も、神の目には「価高く、貴い」一人ひとりです。紙を折ることのできなかつた子供が、紙を折ることができるようになつたすばらしい能力も、科学者が今まで知らなかつたことを発見する能力も、神の目にはともに「価高く、貴い」能力です。神は私たちをそのような愛する子供として創られました。

(イザヤ書四三・四)

聖隸クリストファー中学校

中学校開設を祝して

十一月二十八日（土）九時、中・高等学校のクリストファー・ホールにおいて「聖隸クリストファー中学校開設記念式典」が執り行われました。式典の後には生徒による発表と記念講演、記念植樹が行われ、一期生の三十一名とその保護者、PTAと後援会役員、教育機関関係者や在学生・教職員等三〇〇名近くの出席をいただきました。

はじめに大木島宣弘校長より、毎日の学校生活の様子について紹介がありました。それぞれの活動を通じて本校が目指す学校像、育てる生徒像の実現に向けた取り組みが着実に進められており、式典のこの日を決意新たに大きくもう一步踏み出していく機会にしたいと話されました。さらに「為せば成る、為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」を合言葉に、聖隸に来てよかつたと実感できるように全力で取り組んでいきたいと抱負を述べられました。

続いて長谷川了理事長からは、聖隸学園のこれから取り組みが語られ、新しい

計画をもつてさらに前進していくないと話されました。

「一人一人が主役」 それが聖隸スタイル

四月の開校以来、生徒「一人一人が主役」となって、授業や学校行事、さまざまな体験活動に生き生きと取り組んでいます。記念式典に続く生徒発表では、生徒代表の小林奈甫さんが「入学以来授業、学校行事を通して自分が成長したことを実感します。これから

も一期生として恥じることのない学

校生活を送りたい。」と決意を発表しました。引き続き鈴木大賀君がこれまでの中学校生活をスライドショーを用いて紹介し、さらに、堤光司君、菅沼美杏さんが英語でレシテーションを行い、少林寺拳法部とハンドベル部が日頃の練習成果を披露しました。



▲大木島宣弘校長



▲生徒代表の小林奈甫さん



▲少林寺拳法部とハンドベル部が練習成果を披露



▲生徒代表による記念植樹



▲聖隸三方原病院 萩野和功病院長

記念講演には高校の生徒も出席し、改めて自分たちの学びを振り返るよい機会となりました。

聖隸の中高一貫教育に期待

続く記念講演では、「中・高等学校教育に求められているもの」と題し、聖隸三方原病院の荻野和功病院長にご講演いただきました。病院に就職する若い医師の特徴として、何事にも受け身であること、チームプレーが苦手であること、メンタルが弱いことなどを挙げ、これからの中・高等学校教育に求められるものとして、六年間というゆとりある時間の中で自ら課題を見つけ、調べ、考え解決するといった学問に対する積極的な姿勢を身につけることや、部活動を通してみんなで協力して行う達成感を味わい、社会に入つてから上下関係や自分が社会の一役を担い責任を果たすことの大切さを覚えることが必要なのではないかと話されました。

また、医療・福祉・教育が一体となつた他の教育機関にはない最高の環境を活用し、聖隸でしかできない「隣人愛」の精神を中心とした、感性や知性を身につけることのできる教育を行つていただきたいと話されました。

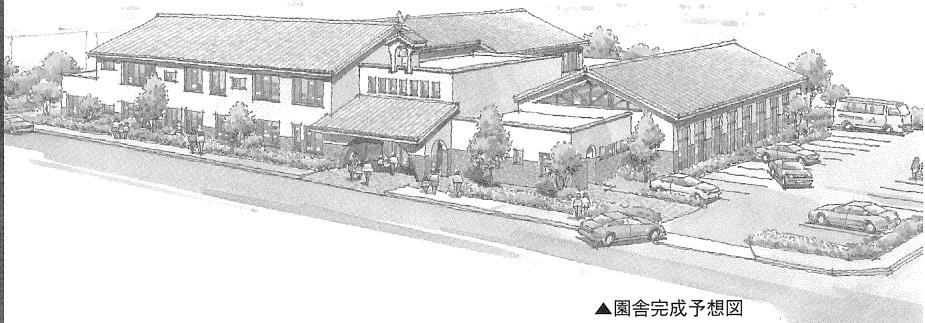
記念講演には高校の生徒も出席し、改めて自分たちの学びを振り返るよい機会となりました。

認定こども園開設を目指します

【2011年4月(予定)】

【目指す園の姿】

- キリスト教主義を基盤にして、様々な家庭環境にある乳幼児に対し、心身ともに健やかに育つ教育・保育を実践していく園
- 地域住民のための子育て支援を充実させ、地域の子育て環境向上させる園



▲園舎完成予想図

図① 認定こども園の4タイプ

タイプ名 全国園数(県内園数)

- | | |
|----------|-------------------------------|
| I 幼保連携型 | 158園(0園)
《認可幼稚園と認可保育所の連携》 |
| II 幼稚園型 | 125園(1園)
《認可幼稚園に保育所的機能を付加》 |
| III 保育所型 | 55園(0園)
《認可保育所に幼稚園的機能の付加》 |
| IV 地方裁量型 | 20園(1園)
《幼稚園・保育所の認可がない施設》 |

平成21年4月1日現在

[文部科学省・厚生労働省幼保連携推進室]

この認定こども園は、幼稚園と保育所それぞれが認可されているか否かによって四タイプに分類されます(図①)。入園時には、幼稚園・保育所のいずれかに所属をすることになりますが、あらゆる家庭環境にある子どもたちが同じ施設の中で、一体的な教育・保育が受けられます。

二〇〇九年四月時点で、四三都道府県で三五八園が認定こども園の認定を受けました。静岡県内では二園が認定されておりますが、認可幼稚園と認可保育所にあります。認可幼稚園と認可保育所は、両方の機能をもつ施設であり、二〇〇六年十月に開始された制度です。保護者や地域の多様なニーズに応えるために、子どもの教育・保育・子育て支援を総合的に提供する施設として全国的に設置が進められています。

認定こども園の特長

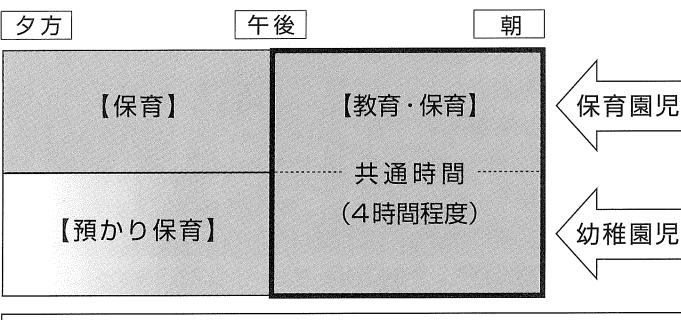
- ①異年齢の子どもたちがふれあい共に育ちます
- ②子育て支援により地域の子育て家庭を支援します
- ③入園に就労条件はありません
- ④入園は直接園に申込できます

既存の幼稚園や保育所と違い、聖隸学園ではこれまでの枠組みにとらわれない、新しい形の教育・保育施設として、認定こども園を設置・運営していきます。

よる幼保連携型の認定こども園は一園もなく、本県での設置の必要性を感じます。そこで本学園では、二〇〇八年度に開設した社会福祉学部こども教育福祉学科の教員・学生との連携により、在園児はじめ保護者や地域住民への教育・保育・子育てに関わる支援事業として、また、大学の教育・研究のための附属施設として、幼保連携型の認定こども園設置を二〇一二年四月に予定しています。

設置する園では、聖隸学園の建学の精神である隣人愛のもと、将来を担う子どもたちの健全で豊かな感性を育む乳幼児への教育・保育を実施します。この取り組みを通して、地域の幼児教育分野の発展に貢献していきたいと考えています。

3~5歳児の保育・教育時間



認定こども園

保育所	幼稚園	定員
15		0歳
15		1歳
15		2歳
15	45	3歳
15	45	4歳
15	45	5歳
90	135	小計
	225	合計

計画内容

静岡県内初の養護教諭課程誕生、 養護教諭一種免許状の取得が可能に（認定申請中）

静岡県内には、現在、養護教諭養成課程をもつ大学はなく、県内の小・中・高等学校の養護教諭は、すべて他県で養成されています。県内の要望に応え、二〇一〇年四月から聖隸クリスマスツリー大学看護学部に養護教諭課程を開設し、看護学部の学生が看護師、保健師に加え

て、希望により養護教諭一種の免許が取得できるよう、現在文部科学省に課程認定を申請中です。今後、養護教諭の世代交代や一校複数配置制が課題となる中で、聖隸クリスマスツリー大学は養護教諭育成の面においても、地域社会への貢献に取り組みます。

求められる人材の育成を目指して

聖隸クリストファー大学が目指す養護教諭養成

近年、子どもを取り巻く地域社会や学校、家庭などの環境の変化や情報化、国際化という社会の変化は児童生徒の健康問題にも大きな影響を及ぼしています。核家族化や少子化に伴う家族の不在、孤食などによる生活習慣の乱れ、人間関係形成不全による他者とのコミュニケーション障害に起因する引きこもり、いじめによる自殺、不登校、暴力行為などの問題行動が多発しております。児童生徒の身体の健康問題に加えてメンタル面のケアも学校保健における大きな課題となっています。

子どもたちは、多様化とあふれる情報の中から健康にとって望ましい事象を選び出す判断力を培う必要があります。養護教諭にはそうした社会環境の変化に即応できる技量と資質を持つて学校生活の場面で児童生徒に健康教育を行ないます。学校保健の目的において、健康、疾患及び看護に関する知識・技能

はその基盤として求められるものであり、学校内で医学的知識と技術をもつて判断と处置ができるのは看護職である養護教諭であると言えます。海外において多くの国が学校にスクール・ナースを配置している事実からもその重要性は明白です。また看護専門職養成のための教育は、児童生徒に寄り添つてその成長と安全を支える能力を引き出す教員を養成する教育を通じるもので

ます。特に危機場面や救急時における養護・看護活動の判断、計画、運営、実施並びに評価は、もつとも養護教諭に期待されている役割のひとつと言えます。また児童生徒の健康問題の解決を図るために、校長、担任教師や保護者、教育関係者との連携だけでなく、学校医や医療機関、保健・福祉等の関係機関などとの連携が必要です。

聖隸クリストファー大学看護学部は、専門職としての高い知識と技術を持ち、かつ幅広い教養、強い倫理観、さらには他の関連職種との協働能力と国際感覚を身につけた看護専門職を養成して

います。学校保健の目的において、健

康、疾患及び看護に関する知識・技能を学び、児童生徒の発育発達支援に寄与し、多様な社会や環境の変動から起こる子どもの健康問題に対処できる力量と技能を備えた養護教諭を養成したいと考えています。

2010年度入試日程

看護学部 看護学科

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 ●理学療法学専攻 ●作業療法学専攻 ●言語聴覚学専攻

社会福祉学部 社会福祉学科 ●社会福祉専攻 ●介護福祉専攻 こども教育福祉学科

◎リハビリテーション学部で第2志望の出願ができます。※一般入試（前期） ◎静岡・名古屋でも受験できます。

区分	学部	出願期間	選抜期日	試験会場	合格発表	
前期	一般入試	1/6(水) ~1/25(月) 消印有効	2/4(木)	本学、静岡、名古屋	2/11(祝・木)	
			2/5(金)	本学		
	大学入試センター試験 利用入試		個別試験はありません	—		
後期	一般入試	2/15(月) ~2/23(火) 消印有効	3/3(水)	本学	3/9(火)	
	大学入試センター試験 利用入試		3/3(水)	本学		
			個別試験はありません	—		

*1) 社会福祉学部は2/4(木)と5(金)の両日受験可、試験日も自由選択でき、学科の併願もできます。 *2) 社会福祉学科のみ実施します。

◆お問い合わせは《入試・広報センター》へ TEL.053-439-1401/FAX.053-439-1430 | <http://www.seirei.ac.jp> | E-mail:cl-entrance@admin.seirei.ac.jp

普通科のクラス編成が変更となりました。

本校は4年前に設置した英数科だけでなく、

普通科の特進クラス、進学クラスにおいても、年々めざましい大学進学実績を上げてきました。

ここ数年は、総合クラス・情報クラスにおいても、約3分の2の生徒が大学・専門学校等へ進学しています。

そこで、総合クラス、情報クラスをより実情に即したものとし、生徒・保護者の進路希望に沿うため、

2010年度の入学生募集から従来の普通科総合クラスと情報クラスを、

進学クラスⅡ類へと発展的に改編することになりました。

普通科

個性を伸ばし、能力を引き出す学習指導

2010年度より
改編

特進クラス

進学クラスⅠ類

進学クラスⅡ類

2010年度より、生徒の学力向上と希望に応じた大学への進学をめざして、これまでの特進クラス、進学クラスに加えて新たに進学クラスⅡ類を設定します。進路選択により的確に応えるため、個々の能力や適性によって、2年進級時に学科変更、クラス変更ができるように配慮もします。進学クラスⅠ類は従来の進学クラスの名称を変更したもので内容的に変更はありません。

1週間の時間割						1年次／45分授業（モデル）	
	月	火	水	木	金	土（隔週）	
1	世界史B	数学I	化学I	数学A	国語総合	化学I	
2	国語総合	音楽I	英語I	聖書	労作	世界史B	
3	数学I	世界史B	体育	情報A	数学I	理科総合A	
4	化学I	英語I	国語総合	英語I	英語I	国語総合	
5	英語I	体育	数学I	音楽I	体育		
6	保健	理科総合A	数学A	世界史B	情報A		
7		国語総合	英語I	LHR	世界史B		

※LHR（ロングホームルーム）



特進クラス

進学クラスⅠ類

進学クラスⅡ類

改編

ハイレベルな教科書による、英語・数学の科目で、習熟度別授業が行われるほか、補講を実施し、進路を見据えた学習指導を行います。英語で音楽、体育、聖書を学ぶ英語イマージョン教育を行います。

希望する大学への進学を実現するため、選択科目や希望により受講できる各補講など、個々の進学目標に応じたきめ細かく効率的な進学指導を行います。

大学への進学を目標に、自分の進路を見極めたいという生徒のためのクラスです。基礎内容の教材を取り入れた丁寧な指導のもと学力を養い、2年次より多様な進路希望に応じた進学指導を行います。

進路目標
国公立大学、上位私立大学への進学
各種検定
卒業までに英検2級以上をめざす

進路目標
中堅私立大学への進学
各種検定
卒業までに英検準2級以上をめざす

進路目標
大学を中心とした多様な進学
各種検定
卒業までに英検準2級以上をめざす

◆中・高等学校2010年度入試日程

	出願期間(必着)	選抜期日	合格発表	入学手続期間
中学校(後期)	1/15(金)～1/21(木)	1/24(日)	1/28(木)	1/29(金)～2/1(月)
高等学校	2/1(月)～2/2(火)	2/8(月)・9(火)	2/19(金)	単願2/22(月)～2/23(火) 併願3/16(火)

大学新校舎設置プロジェクト

◆聖隸学園第三次中長期経営計画

聖隸学園では、2018年度までの「第三次中長期経営計画」を策定し、具体的な事業を推進しています。その一つに大学新校舎設置計画があります。

現在の大学校舎のうち、第一体育館、4号館および5号館は旧建築基準法に基づいて建築された校舎であり老朽化しています。また一方で大学として常に教育の質の向上を図ることが求められており、特に「学生の学びの質」を高めることが必要です。

そこでまず第一体育館を解体し、その跡地に学習環境の充実を目的とした校舎を建築する計画です。

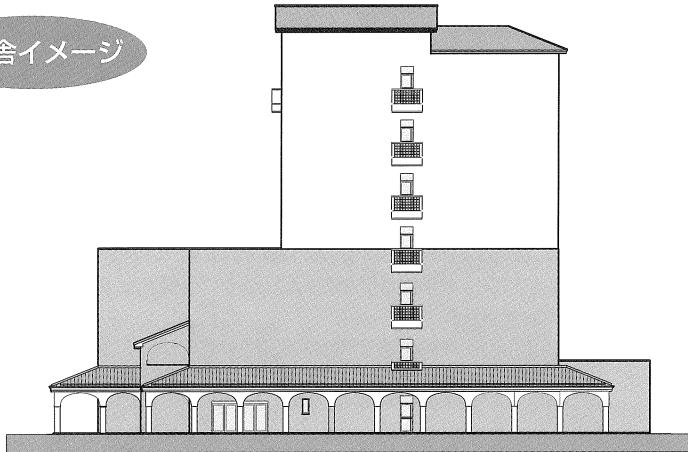
◆新校舎設置プロジェクト

2011年度の完成を目指して、今年度より大学新校舎設置プロジェクトを立ち上げました。メンバーは幅広い意見が反映できるよう、役員、教員、事務職員の計23名で構成されています。プロジェクトは、現在の校舎や施設における問題点の洗い出しから始まり、最終的な基本構想案までを取りまとめます。また、その過程における具体的な作業や検討は、12名からなるワーキンググループで行っています。



北立面図

新校舎イメージ



西立面図

新校舎のコンセプト

右記の3点をコンセプトとし、大学の価値を高める校舎の建設を目指しています。

1. 時代を先取りし、競争力を持つワンランク上の校舎
2. 学生の学びの質を保証するための学生支援・学習環境整備
3. 地域と大学との結びつきの拠点

◆新校舎の構想

大学キャンパスの入口に位置する新校舎は、7階建て、延床面積5,000m²の規模を予定しています。1階には聖隸の歴史と精神を標榜する「聖隸歴史資料館」を移設予定です。2・3階には、現在1号館にある図書館を移設するとともにラウンジを新設し、4~6階には学部および大学院の教室・施設等を、最上階の7階には研究室を配置する計画です。

図書館には、従来の閲覧室にプラスして、学生の日常的な学習の場として使うことができる新たな学習室を整備する計画です。また設備については先進的かつ特色ある施設を既に見学・調査しており、その優れた点や先進性をどのような形で本学に取り入れていくかが、今後の課題と考えています。

◆今後のスケジュール

2010年3月には新校舎の設計が完了する予定です。そして2010年7月には第一体育館の解体を開始し、新校舎の建築は10月着工、2011年8月竣工、同10月から使用開始の見通しです。

◎新校舎は大学の正門から一番近い校舎となります。大学の玄関として相応しい校舎となるよう、しっかりと準備を進めていきたい考えです。

財務状況および 2009 年度補正予算の概要

◆2008年度決算について

1.貸借対照表は資産（土地、建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示すものです。2008年度末における有利子負債は21億2200万円あり、校舎建設などのための借入金による負債の割合が高いものの、総資産の65%は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性には十分な余力があります。また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短4年強での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えています。

2.大学は2007年度にすべての学部・研究科が完成年度を迎え、財務状況は一旦回復しました。2008年度は新たに社会福祉学部に保育士・幼稚園教諭を育成する「こども教育福祉学科」を、大学院には看護・社会福祉・リハビリテーションの3分野を総合する「保健科学研究科」（博士後期課程）を開設しました。

3.新規事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、学校法人全体の収支はプラス4.2%（帰属収支差額比率）と計画を上回っています。（大学法人の全国平均値は7.4%です。）

4.大学の収支は安定した状況を継続しています。学部による違いがあるものの、新規事業に伴う経費の増加や一部人件費（退職給与引当金）の増加が収入の増加を上回り、「帰属収支差額比率」は15.1%に低下しました。（大学部門の全国平均値は10.8%です。）

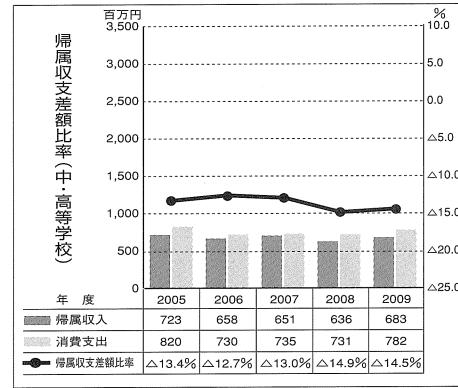
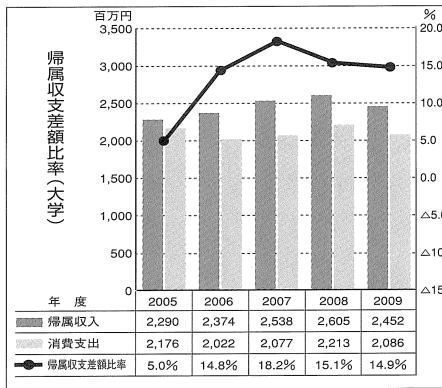
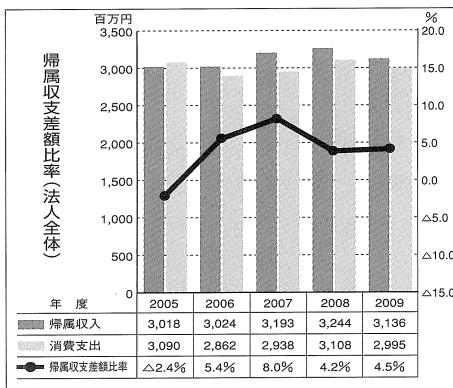
5.高等学校の収支はマイナスで推移しているものの、中長期計画の推進により、教育の質は着実に向上しています。またキャンパスの全面移転により教育環境の整備を既に済ませていますので、今後は中・高等学校として財務改善を進める計画です。

◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、適切な指導を行うために学校法人の経営状態を定量的な指標により7つに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は引き続きA2ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。

	経営困難状態 (レッドゾーン・イエローゾーン)				イエローゾーンの 予備的段階	正常状態	
判 定	B 4	B 3	B 2	B 1	B 0	A 2	A 1
	おかしくない いつもぶれても 可能性	在学中に破綻の いくつぶれても	蓄積資金を食つて なくなれば破綻	黒字だが借金が 過多	B 1の一歩手前 の段階	不十分 更新を行なうには 黒字だが設備	できる十分な 更新が

判定の指標: ①教育研究活動による現・預金の増減が赤字(2年連続)か、黒字か
②借入金等外部負債超過額を10年で返済することが可能か、不可能か
③帰属収支差額が赤字(2年連続)か、黒字(黒字幅が10%未満、以上)か



◆第三次中長期経営計画(2009~2018年度)について

1.聖隸学園では第一次、第二次十か年計画において大学2学部・大学院2研究科の設置、高等学校の全面移転、大学院博士後期課程の設置、中学校の設置まで順調に進めてきました。さらに今後10年間の進むべき方向性について、第三次中長期経営計画を策定し推進しています。

2.年度ごとの主な事業は次の通りです。

2009年度:高等学校「劳作」用地取得

2010年度:高等学校グラウンド用地取得、大学養護教諭課程設置 大学第一体育館解体、新校舎建築工事(～2011年度)

2011年度:認定こども園(幼稚園135名、保育園90名)開設
大学新校舎竣工

2013～2016年度：メディカルスクール／医学部設置準備
2016～2018年度：同設置認可申請、設置

3.これを推進するため、大学の各学部および中・高等学校においては具体的な目標を設定し、また各部門における「財務上の課題」を明確にしています。

4.今後、すべての教職員が一丸となって各部門の目標と課題を達成することにより、新たな可能性を切り開いていくことができると考えています。